

「日々の理科」(第 2821 号) 2022, -4, 26

## 「ドイツトウヒの球果 (1)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

ドイツトウヒというのは「ドイツに亡命 (逃避)」することではない。もちろん「ドイツ人の頭皮」でもない。「ドイツの政党の党費」でもない。マツ科トウヒ属の「トウヒ (唐檜)」の一種である。正式な和名は「オウシュウトウヒ (欧州唐檜)」という。



樹容は美しく、円錐形の高木である。一般に「クリスマスツリー」として売られている鉢植えは、モミの樹とりも、ドイツトウヒのほうが多い。放っておくと、写真のような巨木になってしまうので、庭には植えないほうが良い。



トウヒは材も美しい。極めて素直にまっすぐと伸びる。欧州では樹齢 1000 年を超えるものもあり、「世界最長寿の樹木」もドイツトウヒだという。実に樹齢 8000 年以上というから驚異的である。



岩手大学の先生から宅急便が届いた。私が「ドイツトウヒの種子」を依頼したのだ。中には「チョコパイ」の箱が入っていた。お菓子も一緒に送っていただけたのかと思い、喜んで開けてみた。



中には「岩手日報」の新聞紙に包まれて、緩衝材にくるまれた「物体」が入っていた。お菓子ではない。



開けてみると、見事な球果 (針葉樹の球果) がいくつか入っている。一見「エゾアカマツ」に見えたが、特徴から右の 3 個は「ドイツトウヒ」の球果とわかった。久しぶりにこの球果に出会えた。